

都市計画道路草加三郷線／谷塚仲町工区路線測量等説明会

開催結果について

1. 開催日時、場所、参加者

日	時間帯	会場	参加者
令和6年6月14日(金)	14:30～15:30	谷塚文化センター	11名
令和6年6月15日(土)	14:30～15:30		17名

合計28名

2. 説明内容

- (1) 路線概要
- (2) 事業概要
- (3) 道路整備の必要性
- (4) 事業の流れ、進め方
- (5) 本年度の予定
- (6) 路線測量の進め方

※詳細内容は説明資料をご覧ください。

3. 質疑応答の概要

【道路計画について】

Q 今回の事業は立体交差ではないということでしょうか。

A 平面交差で計画をしています。

Q この計画はもともと立体交差だと思うが、立体交差で行うのか。

A 都市計画決定は平面交差の計画となっています。

本事業では平面交差で考えています。

Q 22mの幅員で土地の買収を進めていくのか。

A 都市計画決定に基づき整備をしていきたいと考えています。今回の事業は基本的に22mの幅員で行っていきます。

Q 蓋掛けの水路も含めて22mの幅になっているのか。

A 現時点では詳細な設計がなく、路線測量の段階ですが、今後、計画道路内に入るものは代替措置を考え、事業を進めていきます。

Q これまでは対向車線側の接続道路へ右折で進入ができたが、今回の計画では、右折の進入は難しくなるのか。

A この路線は全線で中央帯の設置を行っています。今回の谷塚仲町工区も中央帯の設置を予定しており、基本的に右折はできなくなります。

Q 現状、北側には歩道があるが南側にはない。今回は南側にも歩道ができるのか。

A 4車線道路なので、両側とも3.5メートルの歩道がつく予定となっています。

【路線測量について】

Q 7月～8月頃に駐車場の整備を予定している。測量と時期が被ってしまうとまずいと思っているが、測量は6月中に行う予定なのか。また、測量でピンなどは設置するのか。

A 路線測量の時期は早ければ6月下旬もしくは7月中旬ごろから着手を考えています。測量範囲が広いと、該当箇所の実施時期は未定ですが、順次行っていくので御了承ください。また、測量と駐車場の整備工事が重なった場合は個別に調整します。駐車場の整備など道路敷地外の土地に関しての利用について制限を求めるようなことは考えていません。測量ピンなどは現在の道路敷地内に設置します。私有地には設置しません。

Q 駐車場の整備を計画していると申したが、アスファルトの工事を予定している。その場所にピンが打ち付けてあるが、工事の際に埋めて問題ないか。

A 道路と民地の境界杭であれば話は変わりますが、敷地内に埼玉県で測量杭などを設置した認識はありません。個別に現地を確認させていただければと思います。

Q 身分証明書は写真が付いているのか。

A 身分証明書は写真が付いたものと考えています。

Q 路線測量の中心線はどのように決めるのか。

A 予備設計と路線測量を行いながら、中心線を決めていきます。現時点ではどの位置に中心線が設定されるかはお答えできません。

Q 路線測量の対象となると思っている。夫婦共働きで子供がいる。知らない作業員が黙って庭に立ち入ると子供たちが驚くので事前にお知らせいただきたい。

A ポスティングをしたうえで御連絡をさせていただきます。黙って土地に立ち入ることは考えていません。連絡がつかない場合は遅い時間に連絡することもあるので了承いただければと思います。

【用地について】

Q 水路と反対側に家を所有している。南側に道路が拡幅された場合には対象となると思われる。用地買収範囲に入った場合は土地の一部でもすべてを買い上げとなるのか。残った土地はどのように扱われるのか。

A 原則としては、県で買収するのは道路にかかる部分のみの買収となります。残地の土地については面積や、形状によって、残地補償という金銭保証で対応します。

Q 物件調査はいつ行うか。

A 路線測量等が終わった後に用地測量の説明会という流れになるため、令和7年度以降となります。物件調査は専門業者に県から委託を行い、半日から1日で家の中の写真を撮らせていただくイメージです。

【その他】

Q この路線は都市計画決定から60年が経過している。おそらく草加市でも一番古い方ではないかと思われる。まだまだこの先も用地測量、物件の調査、用地交渉、道路工事といったスケジュールが続くと説明があったが、どのくらいの期間で整備が完了するのか。是非、我々が生きているうちに何とか完成してもらいたい。

A この路線は草加市内でも瀬崎工区や柳島工区で事業を行っている最中ですが、渋滞解消というところで谷塚仲町工区も事業着手させていただきます。御指摘の通り草加市内は人が集まっている場所で、用地等の制約があるため、地元の皆様や草加市の御協力が必要だと思っています。できる限り事業が早く進むように努めていきたいと思っておりますので、引き続き、御支援と御指導をお願いします。

Q 事業の流れ、進め方について、令和6年度に道路予備設計まで進めるとの予定であるが、その先の道路工事までの予定を概算でもいいが、どんな形で予定しているか教えてほしい。

A 道路予備設計の後は、道路詳細設計、用地測量説明会等という流れになります。しかし、道路の北側に水路があり、道路詳細設計の他にも、水路の詳細設計を行うこと、また、緊急輸送道路であるため、例えば地震とかが起きた際に、電柱等が、転倒して、道路が塞がれるといったことを防ぐために、無電柱化等の詳細設計も行う必要があります。そのため、設計をする上でも難しいところとなっており、実際に道路工事に入る時期について、今現状でお答えすることは難しいです。

Q 今回の草加三郷線で谷塚中学校の前の蓋掛け水路が凸凹していて、車椅子の方が通れないなど市民からの要望も多くが寄せられている。市を通して県の方にも、修繕をしていただいたが、根本的な改善になってないと認識している。今回この工事をするにあたって、最終的には改善されると思われるが、1日でも早く、谷塚中学校前通りの側溝の修繕がなされるように要望する。

A この事業では、設計はこれから行うため、どういう計画で整備するかは決まっています。ただ、この事業より前ということについては、この場ですぐに答えることはできません。御要望については認識しました。

Q 今回の工事現場とは異なるが、路線概要の緑色の点線区間で、草加市のまちづくりと被っているところがあると思われるが、草加市と連携をとって行っていくのか。

A 緑色の点線につきましては、事業範囲外になっているため、具体的に、草加市と話していません。本事業は、赤色の点線の500mの区間の整備を進めていきます。

Q 次の説明の場はどのように考えているのか。

A 現時点では設計が固まって、用地測量に入る前に説明会を予定しています。

Q 役所は住民に道路計画などを押し付ける傾向がある。住民は道路事業で追い出されてしまうので、こまめに説明もしくは報告の場を設けて丁寧に説明がほしい。例えば予備設計の結果を報告する場は設けられないか。

A 予備、詳細設計を実施して計画の形が決まるので、その説明をどの段階で説明するか今はお答えできません。

今回の事業は水路や電線地中化も併せて行う計画です。設計も難しい点があるので、住民の皆様に混乱なく計画をお示しができるように進めていきます。